

離れ、③墓離れだそうで、  
 ①檀家としての寺はいらない。  
 ②葬式は近くの寺で参つてもらえばいい。③墓はいらない。骨は木の根に埋たり、海に流せばよい。という人たちがいるそうです。  
 にわかには信じられず、原稿を書いている今も理解できずにいます。

二十五日は早朝より式典があり、圓頓寺から参加した私たちは宿坊を四時三〇分頃出発し、総本山久遠寺へ向かいました。認証式に参加された各寺院の総代様始め皆様続々と集まり、五時過ぎ大本堂へ行き説明を聞きました。

五時半頃から、認証式を迎えられたお上人様たちが入堂されました。一番前がお上人たち、その後ろが総代と席に着き、日蓮宗管長

猊下が入堂され、式典が始まりました。

静寂のなか肅々と厳粛に進み、英人上人へ日蓮宗管長猊下の認可のお言葉と、圓頓寺住職認証書が親授され、新任職としてのご就任の記念すべき感動の一瞬でありました。いよいよ圓頓寺も英人上人が住職になります。と慶びで胸が一杯になりました。



認証式の原総代（左）と栗原総代（隣）

式典終了後記念撮影をして宿坊に帰り、朝食を感動

と共にいただきました。

参加者一同帰りのバス、飛行機の中でも、法燈継承式を成功させなければならぬと話がはずみ、午後八

## 新年のご挨拶 喜びの認証式・法燈継承式



婦人会会長 瀬口ミス子

新年を寿ぎ、謹んで皆様のご健康とご多幸を願い、お慶び申し上げます。檀信徒・婦人会の皆様には大変お世話になり御礼申し上げます。本年も何とぞよろし

時過ぎに圓頓寺に到着しました。

参加された皆様、大変お疲れさまでした。

南無妙法蓮華經

くお願いいたします。

昨年は、一生の中で巡り会うことが極めて稀な、清正公出開帳四〇〇年ご遠忌法要がありました。中でも、六月の日蓮宗総本山身延山久遠寺においておこなわれた、日攝英人上人の新任職認証式、十一月二十一日の法燈継承式に参加することが出来まして、この上もない喜びでございました。当日は天候を心配していましたが、晴れて、



加持祈禱を受けるお稚児さん①

華やかに四十二名の天童稚児行列が行われ、第三十三世住職英知上人、坊守様、総代様、檀信徒、婦人会会員の皆様と共に圓頓寺の山門にて、第三十四世・新任職日攝英人上人をお迎えいたしました。お稚児さんは、新任職を囲み、古式の衣装を羽織り、頭には天冠や烏帽子などを纏い、保護者や団扇太鼓をたたく参加者と



加持祈禱を受けるお稚児さん②

共に山門に到着すると、梵鐘の音が響き渡りました。その後本堂で法燈継承式が行われ、多数のお寺様のお上人様のご出席下さいましてありがとうございます。お顔を拝見いたしますと存じ上げておりますお上人様が多数お出でいただき、心から御礼申し上げます。第三十三世順信院日薫英知上人が院首になられ、第



加持祈禱を受けるお稚児さん③

三十四世順境院日攝英人上人がご住職にられました。皆様と共にお祝い申し上げます。最後にになりましたが、院首様、住職様、坊守様、総代様、檀家の皆様、婦人会会員様、今まで同様ご指導、ご協力、ご支援いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

南無妙法蓮華經

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

## 新年のご挨拶

## 信行会のご報告



信行会会長 木下美枝子

明けましておめでとうございます。英人上人をお迎えして始めての年を迎えます。本年も多くの行事があります。英人上人ご指導のもと、皆様と共に心を一つにお努めして参りたいと思います。檀信徒の皆様、信行会会員の皆様よろしくお願いたします。

二十二年後半の行事をご報告いたします。

## ☆ 六月一日〜三日。中央

檀信徒研修が京都の大本山妙顕寺でありました。団参でお参りしたことのある由緒あるお寺で、貫首様のキリッとした姿勢と、ひと言ひと言葉強いお声で、お話ししていただいたことに感動いたしました。二日目には比叡山へ行き、バスを降りて横川定光院まで山道を唱題行脚しました。また延暦寺、根本中堂、大講堂へ参拝、詳しく説明していただきました。中央の研修は全国から信徒が集まります。厳しい面もありますが、背筋を伸ばし、真剣に学ばせていただく場だと思います。

☆ 六月二十三日〜二十五

日。英人上人の認証式で身延山久遠寺に団参で参りました。圓頓寺住職としての認証を受けるためです。英人上人の晴れ姿を拝して涙が出ました。

☆ 二十二年は清正公様四百遠忌で、法要や至宝展等もありましたが、頓写会でも沢山の写経が奉納されました。圓頓寺でも七月二十六日施餓鬼法要のおり、本妙寺から清正公像と共に池上上人も来寺され、清正公入滅四百年の法要も厳修されました。

☆ 十月七日。ウイング松橋で護法大会が開かれております。城北地区の席は空席が多く、参加者が少なかつたことを寂しく思いました。

☆ 十一月五〜六日。九州教区研修が熊本が担当でニュースカイホテルに於いてあり、

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
☎(0968)43-2282

お食事処

HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330〜13 ☎44-6435



濱田義正県宗務所長の祝辞

八名で参加いたしました。清正公四百年遠忌で熊本大学の教授の講義でしたが、全く理解できず困りました。平常若い大学生相手に話しておられる方が、老人の私どもに速いテンポで次々と説明されても、とても無理なことでした。二日目は朝勤があり、記念講演は本妙寺・池上上人でした。その



原惠晋圓頓寺干与人の祝辞

後バスに分乗して熊本城本丸御殿、本妙寺へと行きました。教区とは九州中の信徒さんです。他県から来ておられる方は、大変喜ばれました。

☆ さて十一月二十一日は、法燈継承式です。何度も会議をし、打合せを密にし、前々日から準備に大わらわです。各自受持ちの部署を



謝辞を述べる英知上人

すっかり守り勤めるべく一生懸命です。盛大に厳かに奉修されました。異体同心の成果が美しく開きました。英知上人より英人上人へと法燈は渡されました。嬉しいような、寂しいような、何とも言えない感じです。

☆ 十二月八日は荒神大祭、お焚きあげ。そして除夜の鐘つきに引き続き新年を迎

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館  
やすらぎの里

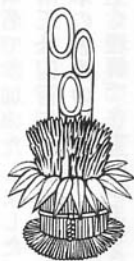


天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



謝辞を述べる英人上人

えます。  
英人上人と新しい年を寿  
ぎ、精進いたします。本年  
もどうぞよろしくお願い  
いたします。  
合掌

今回の研修で特に心に残っ  
ていることは、初日の妙頭  
寺・南條貫首のご挨拶でし  
た。初期胃ガンの発見と手  
術前後の心の葛藤、それか  
ら三十有余年「病」を超越  
した現在のお姿、心底から

信行会 和田 純夫



勇気をいただいた中央研修道場

発せられるお声と、全身に  
みなぎる気迫等々に圧倒さ  
れっぱなしのひと時でした。  
十五年先の「米寿」まで生  
きる予定の私に、尽きぬ勇  
気をいただき、ありがたく  
感謝申し上げます。頑張り  
ます。

講師の先生方からは「日  
蓮宗には、立正安国論の存  
在、異体同心の教え」が他  
宗の研究者からも、私たち  
が生きる指針として最も優  
れていると言われている。  
と教えられました。  
三日間マスメディアから  
完全に隔離されている間、  
「まさか」ではなく「また  
か」という首相辞任のニュ  
ースが世界中に発信されてい  
ました。昨年、清澄寺での

## ニッセイ同和損害保険株式会社 熊本支店

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル

☎ (096) 353-3491 FAX (096) 355-7380

研修時「千年杉」の涙を見ました。日本のリーダーも私どもも、日蓮大聖人のメッセージともいえる「涙」を自分に置き換えて、これからの生活構築に法華経の教えを基本とすべき。と改めて決意いたしました。

妙願寺宝物館で私たちは、特別のお計らいで日蓮大聖

## 清正公第四百遠忌法要

### 本妙寺改修事業支援祈祷会 並びに盃蘭盆法要

#### ほうろく灸祈祷会

平成二十二年度の盃蘭盆盆会法要は七月二十六日に行われました。法話、法要前に住職英人上人を導師に三名のお上人の出仕により恒例のほうろく灸があり、お申し込みの檀信徒が、もぐさ

人の「お数珠」に直接触れることが出来ました。袋の上からでしたが、綻びたところから「翡翠の珠」がのぞいていて、しっかりと触れることが出来ました。

感動の心は今、深く心の中に鎮めていきます。ありがとうございました。合掌

がいった素焼きの土鍋を頭、肩、足、腰などに当てていました。

#### 池上上人の記念法話

半鐘がたたかれ、大太鼓うちわ太鼓、お題目で法話をいただく本妙寺副住職・池上正示上人をお迎えしま



ほうろく灸を当て祈祷を受ける

した。池上上人は、本日のお招きに御礼を述べられ、お題目を参詣者と共に三唱した後、

圓頓寺には過去二回お邪魔しています。七月二十三日四百回目の頓写会の参詣に御礼を申し上げます。頓写会で導師を務め、加藤清正公のご遺徳を讃える敬白文をご宝前で読み上げました。

**盛文社印刷**

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならずべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 とらや商会

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

熊本市立博物館で「よみがえる清正公信仰」という特別展が開催されており、頓写会の翌日熊本大学吉村豊雄教授による、最新の清正公研究という講演があった。歴史の先生は厳しい見方をする。資料を丹念に読みほぐして真実に迫られる。発表された事は私の夢を壊すようなお話でした。これが現実か、事実なのかと、悲しい気持ちで聞いていた私の頭の中をよぎったものがありました。

イヤそれは違うんじゃないか、清正公の優しさ心の広さ、利害得失を超えて他を思いやる情の厚い方だったから、こういう結末になったのではないか。清正公は最後まで、戦場で苦楽を共にした重臣たちを切ることで出来なかつたのではない



池上上人の法話

か。と思い吉村教授に尋ねました。教授は、貴方の気持ちには良く分かる。私もそうだったと思います。とおっしゃってくれました。私は心から嬉しく感じました。加藤家の肥後治世は半世紀に満たないけれども、今日まで清正公は清正公さんとして私たちの心に生き続けています。清正公の御心を育んだのが法華経であり、お題目であり、日蓮大聖人の教えであったということ

が出来ると思います。皆様は、常日頃からお題目に、法華経の教えに親しんでおられます。他人に対する思いやりの心を忘れないような、清正公の気持ちがお分りになられている方々と存じます。圓頓寺様の清正公第四百遠忌法要、本妙寺改修事業支援祈禱会にお題目のご縁をつないで下さいますことに、心より感謝申し上げます。感謝の言葉が到底足ることはないと思っておりますけれども、これをお話を終わらせていただきと共にお題目三唱で法話を終わられました。

清正公ご入滅  
第四百遠忌法要

法話終了後休憩をはさみ、



拜む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具  
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9  
TEL (092)271-0456 • FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4  
TEL (092)806-7499 • FAX (092)807-1079

◆E-mail [umetani@umetani-jp.com](mailto:umetani@umetani-jp.com)

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>



山口、後藤上人により開帳される清正公像

第一式として清正公ご入滅第四百遠忌法要、孟蘭盆法要が、院首英知上人を導師に八名のお上人の出仕で行われました。住職英人上人先導で道場偈が始まり、三宝札、勧請と続き開経偈中に、本励寺の山口義人上人、妙遠寺の後藤本晃上人により清正公像が安置されている御厨子開帳の儀が行われ



讃歎啓白文を言上する英知上人

ました。清正公像が見守る中、自我偈、御宝前修法に続き、讃歎啓白文をご宝前で院首英知上人が言上しました。婦人会代表三名により供膳奉納があり、全参詣者が後藤上人の切り火を受けて清正公へ焼香を行いました。読経の中木剣が切られ、法楽修法、唱題が本堂に響き、御厨子閉帳の儀が

行われ、引き続き孟蘭盆法要も営まれました。

**本妙寺復興支援金贈呈**

第二式に移り、法燈継承式の記念事業のひとつ、「清正公ご入滅四百年本妙寺復興寄進料」が、院首英知上人から「檀信徒一同からご寄進させていただきました。円成を祈ります。」と本妙寺副住職池上正示上人へ贈呈され、池上上人から、「ただ今皆様方の真心のこもったご浄財を賜りまして胸が一杯になりました。」と御礼挨拶がありました。なお、本妙寺から「清正公開帳札」が全参詣者に授与され、ご参詣の皆様は、すがすがしい気持ちで本堂を後にし、檀信徒会館でおたきをいただきました。

(編集委員 谷)

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3





年末総供養：山口義人上人の法話



年末総供養：導師の英人上人

行事スナップ



小路永こずえさんから5名の奏者により  
本堂で開催された「ことチェルト」



団扇太鼓でお題目を唱える檀信徒



今年も立派に出来たしめ縄



本堂も仏具も迎春準備

婚礼・着付

# サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

# 輪番おとぎ、掃除当番地区表

本年度の輪番おとぎ、掃除当番地区は次の通りです。  
 該当々番地区の皆様のご支援と御協力をお願い申し上げます。

3月28日(月) 鬼子母神祭									
市町名	鹿本町	山鹿市							
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名
来民	来民	来民	小柳	堀明	大宮	大宮	熊入	鹿校	志々岐
地区総代名	高森	白石	西山啓一	黒山賢之助	永溝弘法	阿蘇品欣友	井上弘治	塚本フミ子	佐野ミチ子
人員	4	7	1	3	8	7	7	8	7

1月13日(木) 初講会										
市町名	鹿北町	鹿本町				山鹿市				
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	
陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	陣内	
西牟田	野中	福原	福原	福原	福原	福原	福原	福原	福原	
地区総代名	野中	福原	福原	福原	福原	福原	福原	福原	福原	
人員	5	5	4	5	10	10	16	3	4	

7月26日(火) 施餓鬼会									
市町名	和和水町	山鹿市							
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名
徳手クニ	横手クニ	中畑	古閑	古閑	大橋	栄	上	花見坂	大宮
地区総代名	横手クニ	中畑	古閑	古閑	大橋	栄	上	花見坂	大宮
人員	3	4	10	6	4	2	6	2	9

5月3日(祭日) 大黒天祭										
市町名	植木町	鹿本町				山鹿市				
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	
豊田	菊川	丸山	栗原	下	下	下	下	下	下	
地区総代名	菊川	丸山	栗原	下	下	下	下	下	下	
人員	2	2	6	6	3	4	6	2	2	

12月10日(土) 合同大掃除									
市町名	山鹿市								
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名
杉	石	藤井	方保	久	八	八	八	八	八
地区総代名	石	藤井	方保	久	八	八	八	八	八
人員	6	5	2	2	2	4	3	3	6

12月8日(木) 荒神大祭										
市町名	鹿本町	菊鹿町				山鹿市				
町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	町名	
中川	中川	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	
地区総代名	中川	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	上高橋	
人員	3	1	2	1	2	6	5	3	3	

全地区 総代 世話人役員 檀信徒合同奉仕

10月13日(木) 御会式法要

お寺の行事

一月十三日(木)

日蓮大聖人報恩  
午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

一月三日(休) 午前十時

開運 節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日

九日間・夜七時  
日蓮大聖人報恩

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(休) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(月) 午前十時

鬼子母神祭

彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

発行所

山鹿城趾

湯の町でら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二二八

電子メール: a115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三一二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info.seibunya@hyper.ocn.ne.jp